

いビルオーナーに事業提案 ナウい 空室利用し開業促す

ナウい(東京都杉並区、桑山裕史社長)は7日、空室を抱えるビルの立地条件などから新規出店に向く業種を分析し、建物オーナーに対してFCでの開業を呼びかけるコンサルティング事業を開始した。

オーナーが開業費用を全額出資する「全部出資型」のほか、オーナーと

開業希望者が費用を折半する「一部出資型」、開業希望者が費用を全額出資する「事業出資ゼロ型」とリスクに応じて3段階のメニューをそろえた。

一部出資型は、開業希望者から受け取る賃料のほか、毎月の事業収益に応じた収益配分がオーナーの収入となる。事業出資ゼロ型も開業時の敷金

・礼金を免除することで事業収益を受け取れるようにした。

特定のFC本部とは提携せず、ビルの環境に応じてナウいが最適な企業を見つける。同社はマツチングのほか、人材採用や毎月の運営をサポートする。オプショで経理代行なども行う。

事業立ち上げ時にオーナー(または開業者)から受け取る報酬と、毎月の事業収入に応じたロイヤルティがナウいの収

益となる。同社では今後、オーナーにアプローチを遊休不動産を持つビルの勧めていく考えだ。